SONY

2-631-701-03(1)

TA-DA9100ES
接続・設定ガイド

この接続･設定ガイドでは、スーパーオーディオCD/CDプレーヤー、DVDプレーヤー 、テレビ、スピーカー、サブウーファーを接続して、マルチチャンネル音声を楽しむときのつなぎかたの例を説明しています。その他の機器のつなぎかたについて詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

スピーカーを設置する

▼

スピーカー、他機と接続する

▼

接続の最後に電源コードをつなぐ

▼

自動音場補正機能を使って スピーカーを設定する

▼

他機の設定をする

スピーカーを設置する

下の図は7.1チャンネルスピーカーシステム（スピーカー 7本とアクティブサブウーファー 1本）の例です。5.1/9.1チャンネルスピーカーシステムの設置については、取扱説明書の「準備1:スピーカーを設置する」をご覧ください。

7.1チャンネルスピーカーシステムの設置例

A ～ Hは右の欄の「スピーカーを接続する」のA ～ Hと対応しています。

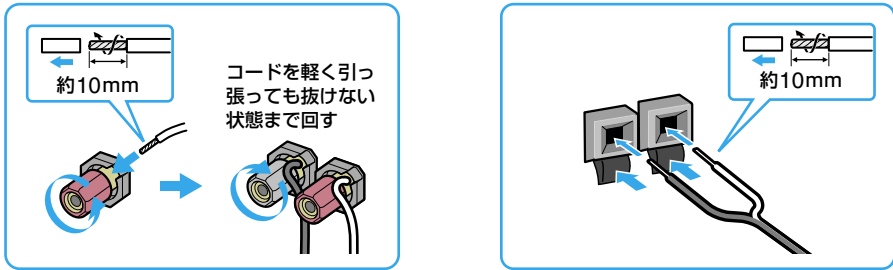
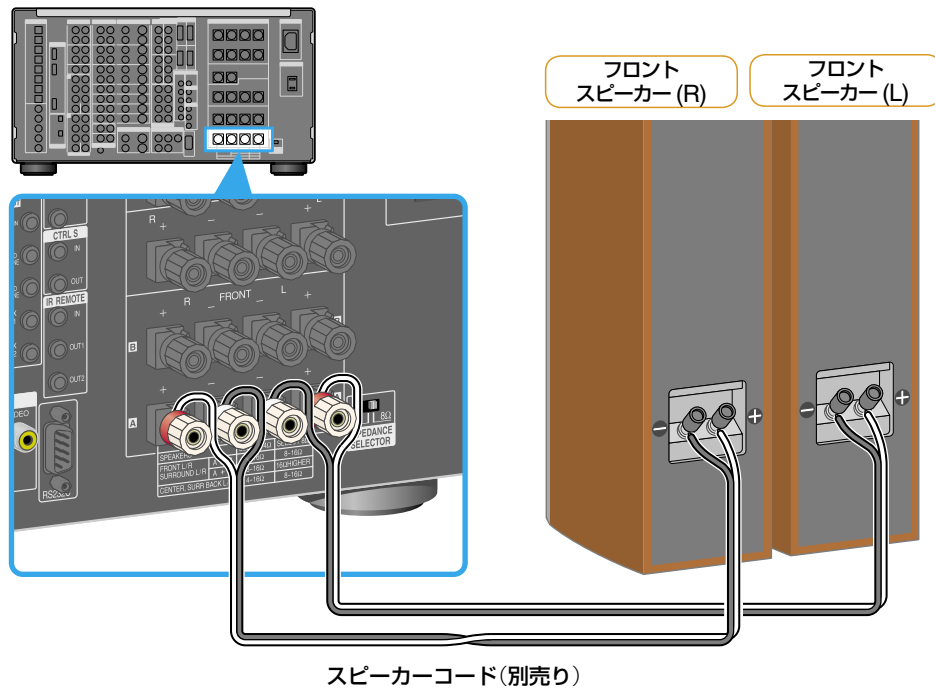
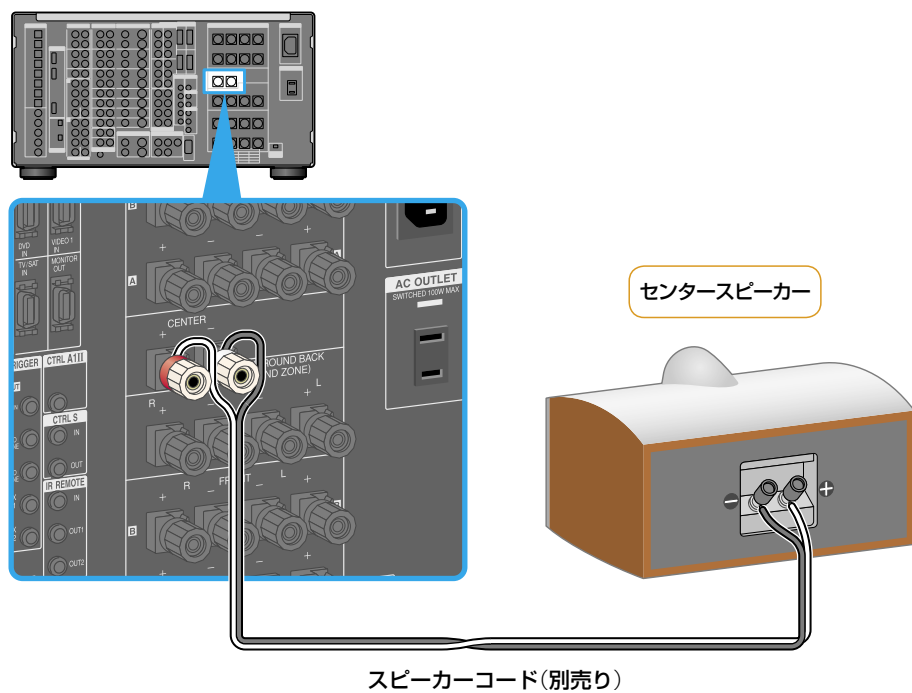
スピーカーを接続する

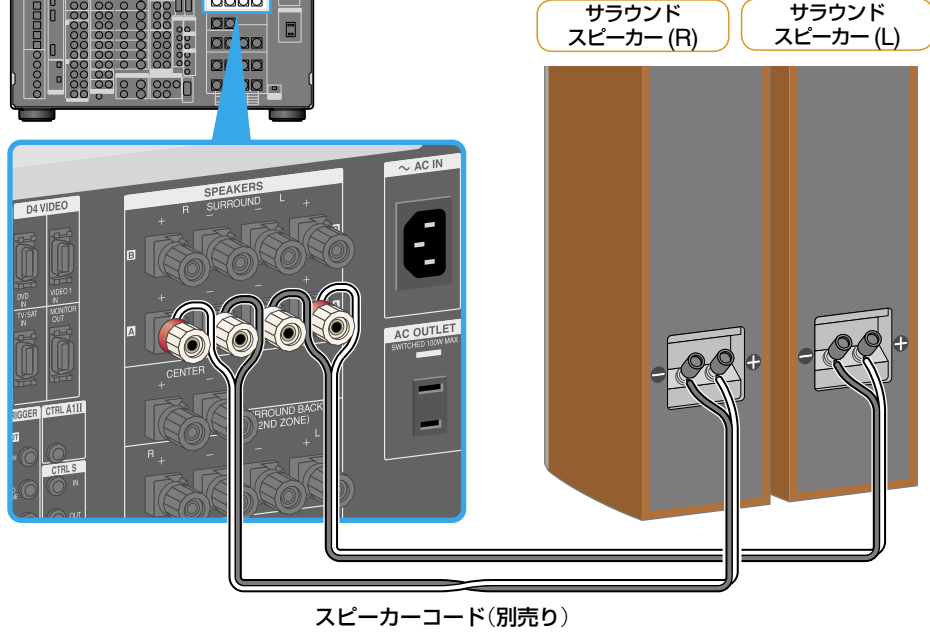
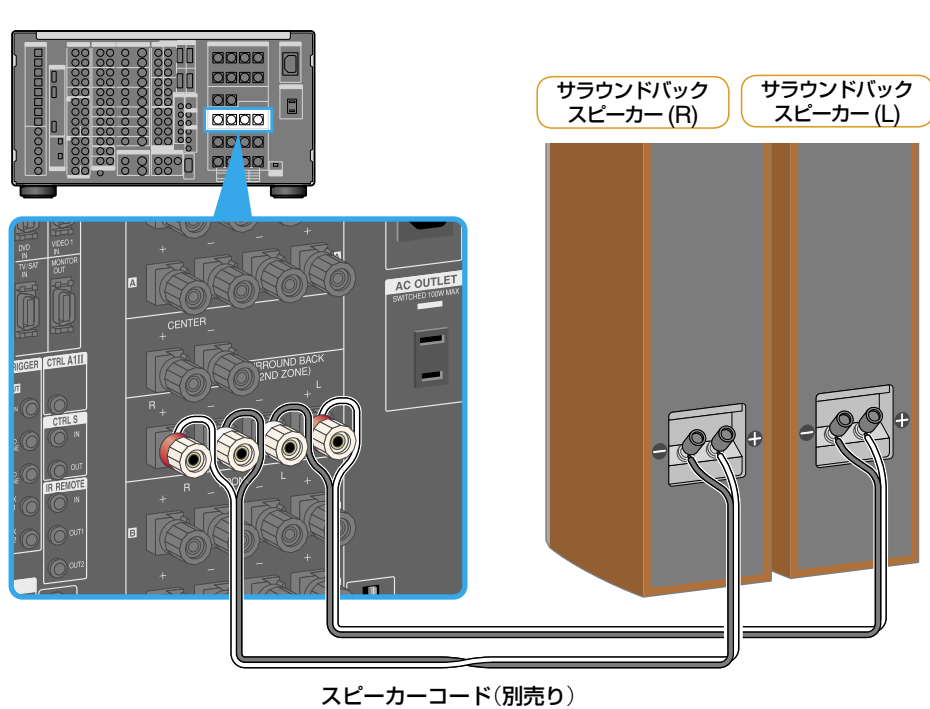
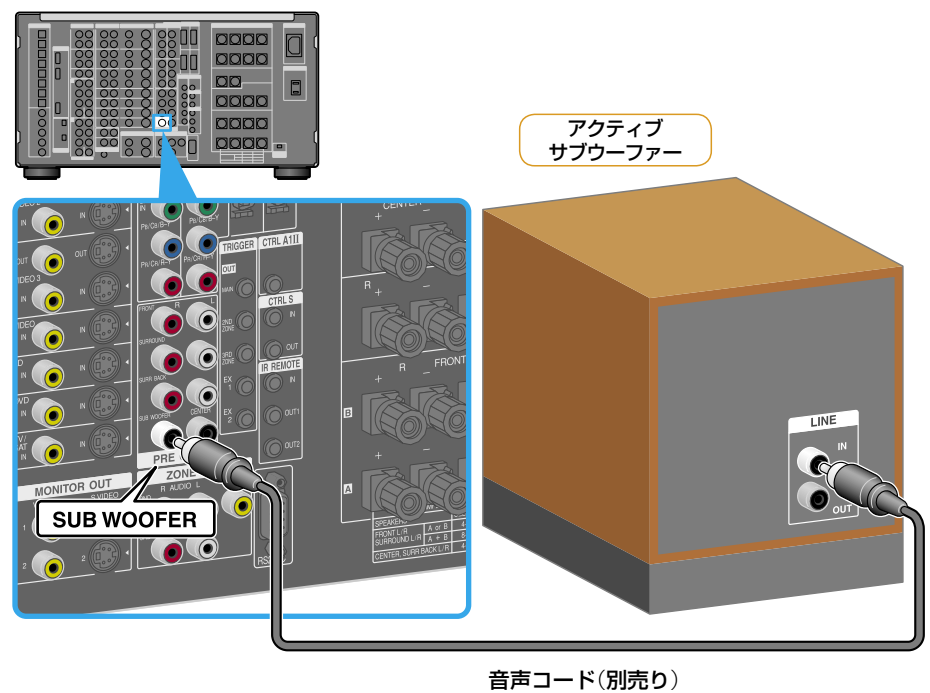
お手持ちのスピーカーの数と種類に合わせて、必要なスピーカーを接続してください。

スピーカーコードについて

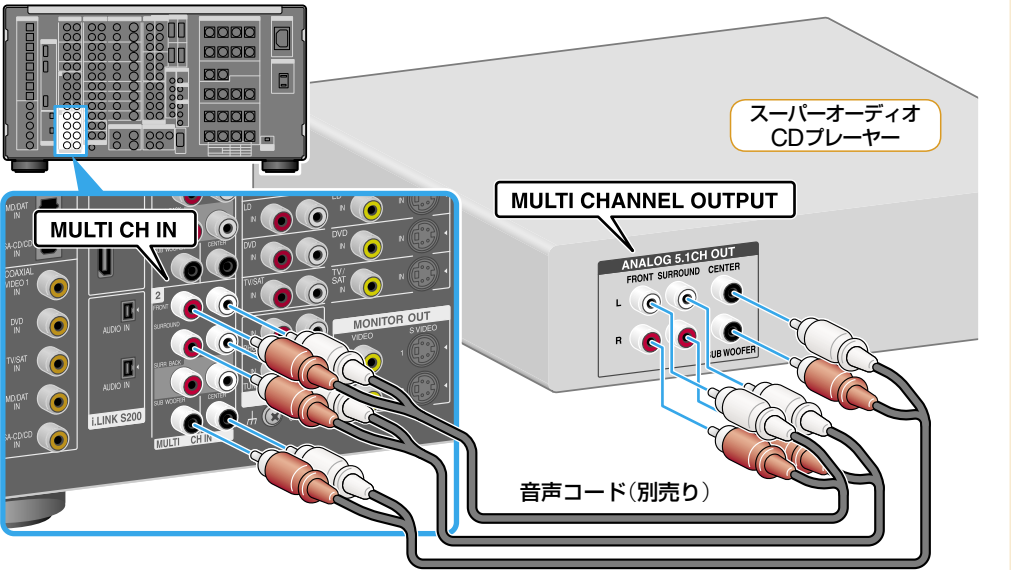
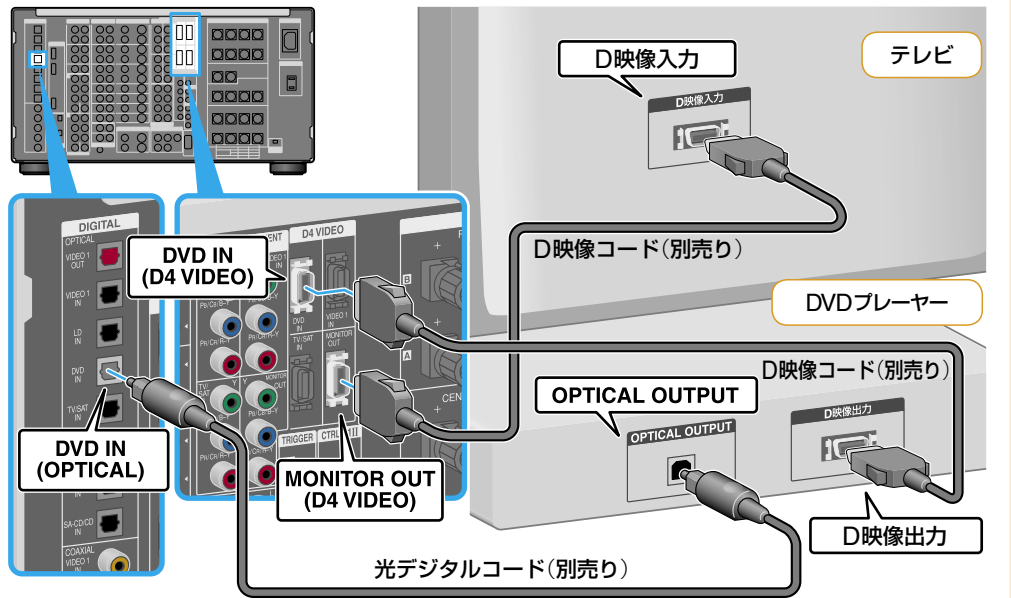
- スピーカーコードは部屋の広さに合わせて必要な長さのものをご用意ください。
- スピーカーコードはコードに文字、線などがある方を－(マイナス)側に接続するなどと決めておくと、＋と－を間違わずに接続できます。

スピーカー端子について

- スピーカーの⊕端子はアンプの⊕端子に、⊖端子は⊖端子に接続してください。
- スピーカーコードの接続のしかたは、下のイラストや別紙のスピーカー接続のご注意をご覧ください。

A B フロントスピーカー（L/R）

C センタースピーカー

D E サラウンドスピーカー（L/R）

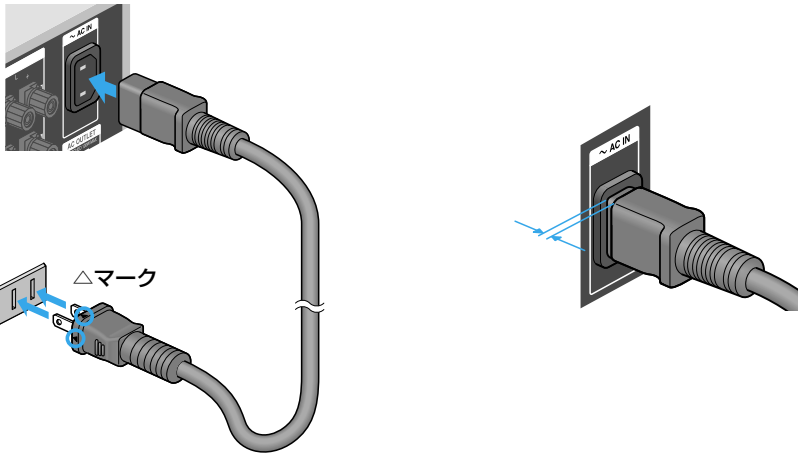
7.1チャンネルシステムでは、サラウンドスピーカー端子はA端子を使います。詳しくは、取扱説明書の「準備5:使用するフロントスピーカーとサラウンドスピーカーを選ぶ（SPEAKERS スイッチ）」をご覧ください。

F G サラウンドバックスピーカー（L/R）

H アクティブサブウーファー

他機と接続する

本機とお手持ちの機器のつなぎ方の例です。他の接続のしかたについては、取扱説明書の「接続と準備」の「準備3」をご覧ください。

スーパーオーディオCDプレーヤー

DVDプレーヤー／テレビ

接続の最後に電源コードをつなぐ

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。

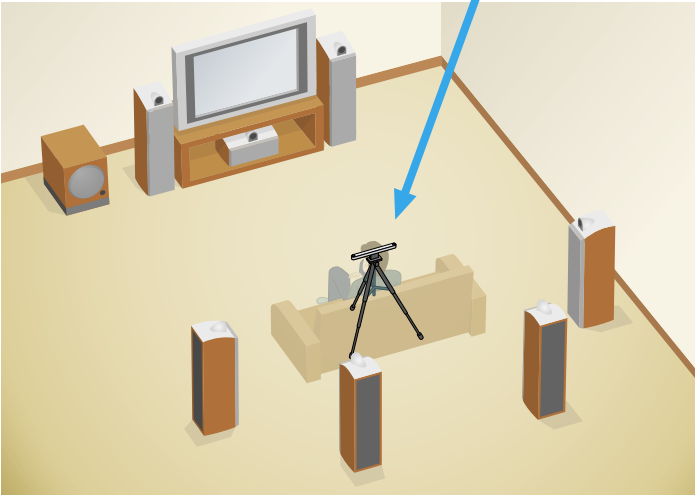
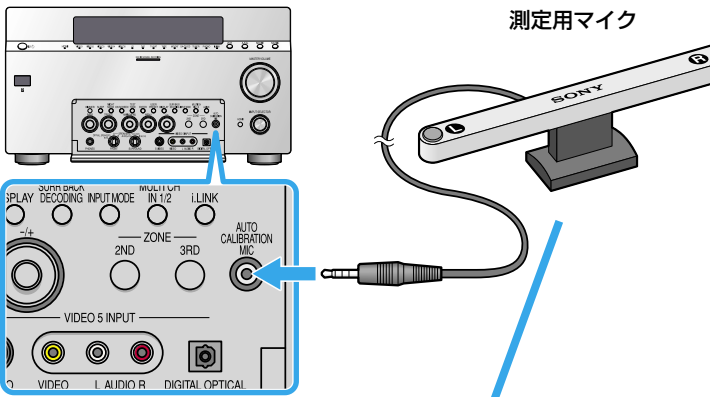
付属の電源コードを本機後面のAC IN（100 V）端子に接続し、電源コードのプラグを壁のコンセントに接続します。

本機後面に電源コードを奥まで差し込んでも、プラグと本機後面の間に数ミリの隙間ができますが、これで正しく接続されています。

ちょっと一言

付属の電源コードには、上の図のようにN極側に△マークがあります。これはよりよい音質にするために、壁のコンセントの差し込み口との極性を合わせるためです。壁のコンセントの差し込み口に長短がある場合は、長い穴がN極側です。長短がない場合は、極性がわかる市販の検電ドライバーで調べます。

自動音場補正機能を使ってスピーカーを設定する

本機の「自動音場補正機能」を使って、約30秒間でリスニング環境に適したスピーカー設定を自動的に行います。
付属のマイクでスピーカーから出る測定音を集音して、設定内容を測定します。

1 測定の準備をする

ご注意

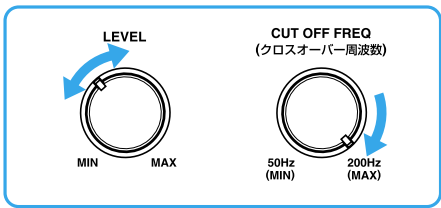
- 測定中は大きな測定音が出ます。音量は調整できません。お子様や隣近所への配慮をお願いします。
- 測定音以外の音が入らないように、静かな環境で測定してください。
- スピーカーとマイクの間に障害物があると正しく測定できません。測定開始前に機器の測定エリア(機器の設置エリア)の外側に出てください。
- AUTO CALIBRATION MIC端子は付属の測定用マイク専用です。他のマイクはつながないでください。本機やマイクの故障の原因になります。

1 **スピーカーを設置・接続する。**
詳しくは、おもて面をご覧ください。

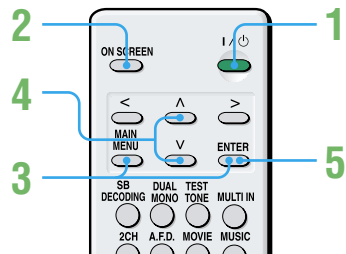
2 **測定用のマイク(付属)を本機前面のAUTO CALIBRATION MIC端子につなぐ。**

3 **マイクを設置する。**
マイクは実際に視聴する位置に設置します。耳と同じ高さになるように、台や三脚を使って固定してください。マイクのLをフロントスピーカーLに、マイクのRをフロントスピーカーRに合わせてください。

アクティブサブウーファーの設定について

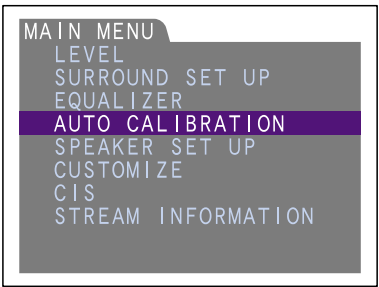
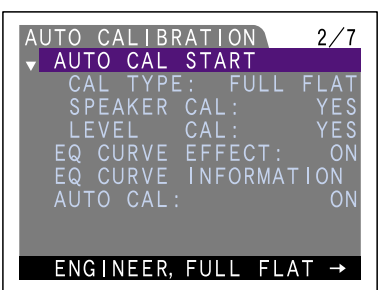
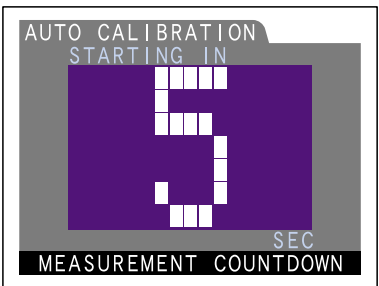
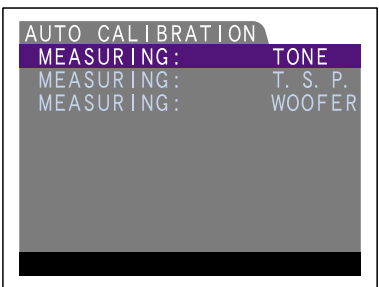
- サブウーファーをつないでいる場合は、電源を入れて、音量を上げておいてください。音量はボリュームつまみを半分または半分よりやや小さめの位置にしてください。
- クロスオーバー周波数の設定機能がある場合は、最大に設定してください。
- オートオフ設定機能がある場合は、オフ(無効)にしてください。

- お使いになるサブウーファーの特性によっては、距離の設定値が実際の配置よりも遠くなることがあります。

2 測定する

簡単リモコン
(RM-U9S)

測定項目: スピーカーの有無、スピーカーの極性、スピーカーの距離、スピーカーの角度、スピーカーのサイズ、スピーカーのレベル、周波数特性

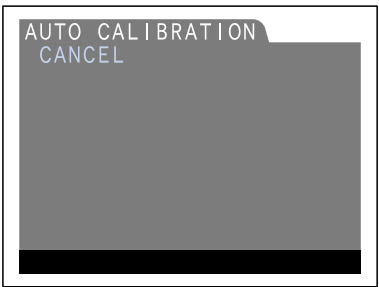
1 **本機とテレビの電源を入れる。**

2 **ON SCREENを押し、本機のメニューをテレビに表示させる。**
このときテレビの入力を本機のメニュー画面に切り換えてください。

3 **MAIN MENUをくり返し押して"AUTO CALIBRATION"を選び、ENTERを押す。**

4 **∧ または ∨ を押して"AUTO CAL START"を選ぶ。**

5 **ENTERを押す。**
決定すると5秒後に測定を開始します。5秒から1秒までカウントダウンが表示されます。
この間に測定エリア(機器の設置エリア)の外側に出てください。

6 **測定が始まる。**
測定時間は約30秒です。測定が終了するまでお待ちください。

測定を中止するには

ボリューム操作、ファンクション切り換え、本体のスピーカースイッチの切り換えで中止されます。

ちょっと一言

測定中に有効な操作は電源のON/OFFとON SCREENのON/OFF操作のみです。そのほかの操作は無効です。

3 測定結果を確認/保存する

1 **測定結果を確認する。**
測定が終わると終了音が鳴り、測定結果が表示されます。

測定結果	表示	説明
正常に測定が終了したとき	COMPLETE	手順2へ進んでください。
正常に測定できなかったとき	ERROR	取扱説明書の「準備6:自動でスピーカーを設定する(自動音場補正機能)」をご覧ください。

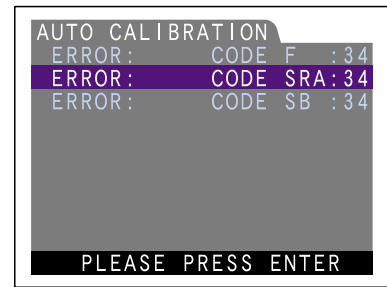
2 **設定を保存する。**
< または > を押して"SAVE EXIT"を選び、ENTERを押す。

測定結果について詳しくは、取扱説明書の「準備6:自動でスピーカーを設定する(自動音場補正機能)」をご覧ください。

エラーが出たときは

エラー原因の対策をして、再測定する。

- CODE 30と31
ENTERを押す。
または本体のENTERを押します。
「測定する」の手順1から再測定します。
- CODE 32～34
ENTERを押し、< または > を押して"YES"を選び、ENTERを押します。
または本体のENTERを押し、+/−つまみを回して"YES"を選び、ENTERを押します。
「測定する」の手順2から再測定します。

AUTO CALIBRATION
ERROR: CODE F :34
ERROR: CODE SRA:34
ERROR: CODE SB :34
PLEASE PRESS ENTER

エラーの種類	原因と対策
CODE 30	ヘッドホンジャックが挿入されています。 ヘッドホンをはずして再測定してください。
CODE 31	スピーカースイッチがOFFになっています。 スピーカースイッチを音の出る状態にして、再測定してください。
CODE 32	どのチャンネルからも音が検出されませんでした。 測定用のマイクが正しく接続されていることを確認し、再測定してください。 接続されている場合は測定用マイクが断線していることが考えられます。
CODE 33	フロントスピーカーが接続されていない、またはサラウンドスピーカーが1本しか接続されていません。
CODE 34	スピーカーが正しい位置に設置されていません。 左右が逆になっているなどが考えられます。 取扱説明書の「準備1:スピーカーを設置する」を参考にしてスピーカーの位置を確認してください。

他機の設定をする

本機につないだ機器を再生するときは、スピーカーから正しく音を出すために各機器側の設定も必要です。以下はソニー製機器の場合の設定方法です。各機器の設定方法について、詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

ソニー製スーパーオーディオCDプレーヤー

必要に応じて適当な再生モード(マルチチャンネルか2チャンネル)を選んでください。2チャンネルを選んでいると、フロントスピーカーL/Rからしか音が出ないことがあります。

ソニー製DVDプレーヤー

1 **設定画面で「オーディオ設定」を選ぶ。**

2 **「オーディオDRC」を「ワイドレンジ」に設定する。**

3 **「音声デジタル出力」を「入」に設定する。**

4 **「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に設定する。**

5 **「DTS」を「入」(機種によっては「DTS」)に設定する。**

ご注意

マルチチャンネル音声を聞くには、必要に応じて再生するディスクの音声フォーマットを設定してください。

設定が終わったら

これで本機をお使いいただく準備ができました。
さらに詳しい操作については取扱説明書をお読みください。